

学術業績（過去3年分）

<学会発表>

2021.3.13 第106回日本神経学会東北地方会 仙台（WEB開催）

多発皮質下出血と白質病変を呈した血管内悪性リンパ腫の1例

○高橋琴乃，金素子，本郷祥子，井上佳奈，大内東香，柴野健，野口晋佐，原賢寿

パーキンソン病の経過中に首下がりを呈し壊死性ミオパチーを伴った1例

○大内東香，井上佳奈，柴野健，原賢寿，宮田元

2021.9.11 第107回 日本神経学会東北地方会 （WEB開催）

多発大脳病変を呈した帯状疱疹ウイルス髄膜脳炎の1例

秋田赤十字病院 神経内科

○本郷祥子，井上佳奈，大内東香，柴野 健，原 賢寿

2021.9.18 第224回 日本内科学会東北地方会（WEB開催）

髄液 ADA 高値のみが診断の手がかりとなった結核性髄膜炎が疑われた1例

秋田赤十字病院 神経内科

○柴野 健，高橋琴乃，本郷祥子，井上佳奈，大内東香，原 賢寿

2021.10.28 第39回 日本神経治療学会学術集会（三重県）

視神経脊髄炎に対する急性期治療の検討～血液浄化療法のタイミングに関する考察～

○原 賢寿，本郷祥子，井上佳奈，大内東香，柴野健，佐藤隆太

秋田赤十字病院 神経内科，秋田赤十字病院 腎臓内科

2022.6.18 第226回 日本内科学会東北地方会（仙台ハイブリッド）

嚙下障害のみを呈した肥厚性硬膜炎の1例

○松本佳那，木村嘉克，井上佳奈，大内東香，柴野健，原賢寿

2022.9.3 第109回 日本神経学会東北地方会（山形市）

Seronegative PERM と考えられた1例

○木村嘉克，遠山玄理，井上佳奈，大内東香，原賢寿

2022.10.6 第58回日本赤十字社医学会総会（旭川市）

嚙下障害のみを呈した肥厚性硬膜炎の1例

○松本佳那，木村嘉克，井上佳奈，大内東香，柴野健，原賢寿

2023.3.4 第110回 日本神経学会東北地方会（仙台市）

広範な大脳白質病変を呈し、シェーグレン症候群を合併した抗 AQP4 抗体陽性かつ抗 MOG 抗体陽性例の 1 例

○遠山玄理, 池上いち子, 井上佳奈, 原賢寿

2023.3.7 第 48 回 日本脳卒中学会学術集会 (横浜市)

Trousseau 症候群における FDP, D-dimer と 3-territory sign の有用性の検討

○木村嘉克, 遠山玄理, 井上佳奈, 原賢寿

2023.9.9 第 111 回 日本神経学会東北地方会 (仙台)

多彩な顔面の不随意運動を認め, 抗 NMDAR 抗体が陰性であった自己免疫性脳炎の 1 例

○岡島なるみ, 井上佳奈, 田中恵子, 原賢寿

2023.11.10 第 59 回 日本赤十字社医学会総会 (京都)

両下肢の筋力低下と多発脳神経麻痺を呈した中枢神経原発悪性リンパ腫の一例

○岡島なるみ, 遠山玄理, 齋藤宏文, 原賢寿

2023.11.3 第 41 回日本神経治療学会学術集会 (東京)

Ofatumumab が両者に有効であった関節リウマチ合併多発性硬化症の 1 例

○原賢寿, 富樫賢

2024.3.2 第 112 回日本神経学会東北地方会 (仙台)

MRI 異常を伴わない Covid-19 感染後急性脊髄炎の 1 例

○加藤怜, 柴田健太郎, 井上佳奈, 原賢寿

<原著論文>

1) Trident sign in a case of neuromyelitis optica spectrum disorder

Haruka Ouchi, Sho Kitahara, Kana Inoue, Ken Shibano, and Kenju Hara

Neurol Clin Neurosci 2021;9:410-411

2) A novel deletion in the C-terminal region of HSPB8 in a family with rimmed vacuolar myopathy

Inoue-Shibui A, Niihori T, Kobayashi M, Suzuki N, Izumi R, Warita H, Hara K, Shirota M, Funayama R, Nakayama K, Nishino I, Aoki M, Aoki Y.

J Hum Genet. 2021 Mar 20. doi: 10.1038/s10038-021-00916-y.

3) Primary degeneration of oculomotor, motor, and somatosensory systems and auditory and visual pathways in spinocerebellar ataxia type 7: A clinicopathological study in a Japanese autopsy case

Ouchi H, Ishiguro H, Shibano K, Hara K, Sugawara M, Enomoto K, Miyata H.

Neuropathology. 2022 Sep 27. doi: 10.1111/neup.12869.

- 4) *KMT2B* 遺伝子に新規の *de novo* 変異を認めた全身性ジストニア DYT28 の 1 例
原 賢寿, 大内東香, 濱中耕平, 宮武聡子, 松本直通
臨床神経 2022;62:856-859
- 5) Progressive conus medullaris lesions are suggestive of intravascular large B-cell lymphoma. Kitahara S, Kanazawa M, Natsumeda M, Sato A, Ishikawa M, Hara K, Tabe H, Makino K, Okamoto K, Fujita N, Kakita A, Fuji Y, Onodera O. Eur J Neurol 2023;10:3236-3243.
- 6) 原 賢寿, 佐藤隆太. 当施設における急性期視神経脊髄炎スペクトラム障害に対する血液浄化療法
の現状と有効性に関する検討. 神経治療学 40:50-53, 2023
- 7) Hara K, Togashi M. Successful treatment of multiple sclerosis with refractory rheumatoid arthritis using
ofatumumab. Clinical and Experimental Neuroimmunology. 18 February 2024